



みどり
水士里ネット

広報

No.23

はとまがわ

H17.12.1 現在

地区面積

56,913,748㎡

組合員数

4,028名



田んぼの学校
"TANBO NO GAKKO"

登米市立中津山小学校 3年生のみんな

H17.12.1 発行 迫川沿岸土地改良区総務課

TEL 0220(58)2024(代) FAX 0220(58)2784

URL <http://www.hakuendo.dyndns.org>

E-mail hasama.r@s5.dion.ne.jp



あいさつ

宮城県登米地方振興事務所
農業農村整備部

部長 三浦 正

豊稷の年の瀬を迎えていると思いますが、迫川沿岸土地改良区の皆様には、いかがが経過でしょうか。

私は、登米地方振興事務所農業農村整備部長として四月一日に着任いたしました。

県庁に採用され、迫土地改良事務所が初任地で、それ以来、四年度目の勤務となりました。

仕事の節目で皆様に御指導・御鞭撻をいただきあらためて感謝申し上げます。

さて、今年の稲作は五月が低温で心配しておりましたが、

六月以降の好天により、十月中旬の農林水産省の発表によれば、作況指数一〇一の平年作となっております。また、管内で出荷された米の一等米比率は約80%と県内平均を10%程度上回っています。

いま、県では「みやぎ食と農の県民条例」に基づいた基本計画（平成十三年度を初年度とし、平成二十二年度を目

標年度）が策定から五年を迎えたことから、中間見直しを行っています。これは、基本計画策定後の本県農業・農村

の状況が、担い手の急速な高

齢化と減少、農地の利用集積のテンポが遅いこと、環境保全型農業に取り組む農業者やJAの増加、農業への民間企業の参入などの新たな動きもでてくるなど、大きく変化していることによるものです。

さらに、後ほど述べる国の政策の大転換に対応しなければならぬものなどです。計画の見直しの視点は以下のとおりです。

一、環境保全型農業・食農

連携

二、活力ある担い手確保・

育成

三、新世代のアグリビジネス

ス創出

四、次代に引き継ぐ農村資源の保全推進

源の保全推進

この四点を基本に十二月下旬までに産業振興委員会の審議や外部意見を聴き、平成十八年二月に県議会の審査を経て平成十八年度に公表する予定

定です。

今年の三月に国で策定された「新たな食料・農業・農村基本計画」では、食糧自給率の目標を設定し、目標達成に向けて取り組むべき事項を明確に示しました。また、具体的な施策の展開方向として

一、担い手の明確化と支援の集中化・重点化

二、経営安定対策の確立

三、環境保全に対する支援

の導入

四、農地・農業用水などの

資源の保全管理施策の構築

などが示されました。これを受け、十月に「経営所得安定対策等大綱」を決定しました。

平成十九年度から、これまで全農家を対象に品目毎に実施していた価格対策を、担い手だけを対象に担い手の経営全体に対する対策に転換することとしております。また、こ

の品目横断的経営安定対策の導入と同時に、地域で取り組む農地・水・環境の保全向上対策を導入することにしております。

貴土地改良区では「二十一世紀土地改良区創造運動」に積極的に取り組まれると共に全国初の「新農業水利システム保全整備事業」や地域が協力して農業施設の適切な保全管理を行う取り組みを推進する「農村サポートセンター設置支援事業」により、都市住民との交流を図りながら、農家の負担軽減と農地の有効活用を働きかけています。このことは、今回の国の施策「農地・水・環境の保全向上対策」に生かしていただけるものと思います。

最後に、組合員皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。そしてあいさついたします。

平成十七年第一回臨時総代会開催

提出議案十七ヶ件原案可決



挨拶を述べる上野理事長

わらず、米価の低落により結果的には所得の減収になったのは皆様ご承知のところであります。

今年の稲作は、田植え後の低温により若干稲の生育遅れが見られましたが、幸いにもその後好天に恵まれ今年も豊作になるのではないかと期待しているところであります。

去る八月九日登米市南方農村環境改善センターに於いて、平成十七年第一回臨時総代会が総代六十六名の出席を得て開催されました。

まず、上野理事長が「昨年の稲作は、冷害の後の大豊作という結果になったにもか

さて、我が改良区は以前より農家生活安定のため農業にかかる経費の軽減を目標に、役職員一体となり各種事業等の取り組みをしてきたところでありました。また、昨年からの用水の週休制、職員による小規模的な直営維持管理、サポートセンター設置によるイ

ベントを通しての多面的機能のピール等、組合員の負託に応えるよう最善の努力をしているところでもあります。

しかし、このことを行っていくためには、総代さん方を始めとした組合員皆様方のご理解とご協力が必要でありますので、皆様方の特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶を述べた後、登米地方振興事務所農業農村整備部三浦部長さんからご祝辞を頂戴し、議長に大久保榮志総代が選出され、平成十六年度会計決算を主とした十七ヶ件の議案を慎重審議の結果、原案のとおり可決し午前十一時五十分閉会しました。

議決事項

▽報告第一号 市町村合併に伴う定款等の記載事項変更について

▼第一号議案 平成十六年度



議長に選出された大久保総代



祝辞を述べる三浦部長

事業報告の承認について

▼第二号議案 平成十六年度財産目録の承認について

▼第三号議案 平成十六年度一般会計歳入歳出決算承認について

▼第四号議案 平成十六年度特別会計（県営・団体営・県

ほ事業）償還金歳入歳出決算承認について

▼第五号議案 平成十六年度特別会計（県営ほ場整備事業）

歳入歳出決算承認について

▼第六号議案 平成十六年度特別会計（蕪栗沼遊水地事業

地役権補償費）積立金歳入歳出決算承認について

▼第七号議案 平成十六年度特別会計（職員退職給与・財政調整・農地転用決済金）

積立金歳入歳出決算承認について

▼第八号議案 平成十六年度特別会計（担い手育成支援事業）

歳入歳出決算承認について

▼第九号議案 財産の処分に

ついて

▼第十号議案 土地改良施設維持管理適正化事業第29期生

実施計画の承認について

▼第十一号議案 元気な地域づくり交付金（基盤整備促進）

添沼地区調査設計事業について

▼第十二号議案 平成十七年度一般会計歳入歳出補正予算

議決について

▼第十三号議案 平成十七年度特別会計（県営・団体営・

県ほ事業）償還金歳入歳出補正予算議決について

▼第十四号議案 平成十七年度特別会計（蕪栗沼遊水地事業

地役権補償費）積立金歳入歳出補正予算議決について

▼第十五号議案 平成十七年度特別会計（職員退職給与・

財政調整・農地転用決済金）積立金歳入歳出補正予算議決

について

▼第十六号議案 平成十七年

度特別会計（担い手育成支援事業）

歳入歳出補正予算議決について



質問をする青田総代



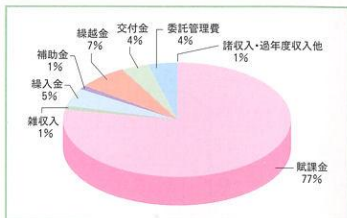
監査報告を行う千葉総括監事

平成16年度 決算

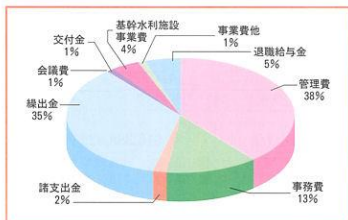
一般会計

歳入 1,055,592,575円 (円)

項 目	決 算 額
賦 課 金	815,172,680
雑 収 入	8,449,795
繰 入 金	56,511,738
補 助 金	12,724,415
繰 越 金	74,837,041
交 付 金	47,321,505
委 託 管 理 費	37,756,350
諸収入・過年度収入他	2,819,051



歳出 971,280,551円 (円)



項 目	決 算 額
事 務 費	124,519,177
管 理 費	382,746,111
諸 支 出 金	19,636,470
繰 出 金	338,951,923
会 議 費	4,123,362
交 付 金	9,224,689
基幹水利施設事業費	36,300,000
事 業 費 他	4,867,081
退 職 給 与 金	50,911,738
差引残金	84,312,024円 (翌年度へ繰越)

特別会計 決算状況

県営・団体営・県営事業 償還金

歳入 435,077,653円 歳出 420,123,388円 差引残金 14,954,265円 (翌年度へ繰越)

県営ほ場整備事業

歳入 7,383,971円 歳出 6,530,839円 差引残金 853,132円
(償還金会計城内地区へ 775,081円 一般会計事務費へ78,051円繰越)

蕨栗沼遊水地事業地役権補償費 積立金

歳入 96,155,310円 歳出 0円 差引残金 96,155,310円 (翌年度へ繰越)

職員退職給与・財政調整・農地転用決済金 積立金

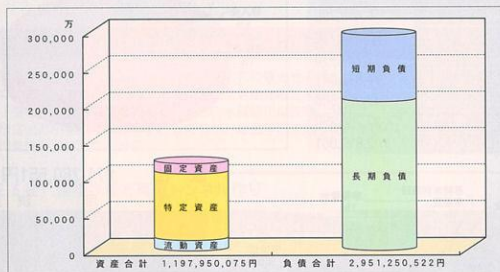
歳入 884,002,748円 歳出 63,769,135円 差引残金 820,233,613円 (翌年度へ繰越)

担い手育成支援事業

歳入 67,524,804円 歳出 34,633,680円 差引残金 32,891,124円 (翌年度へ繰越)

資産と負債のあらまし

流動資産 140,549,161 円	特定資産 917,973,923 円	固定資産 139,426,991 円
一般会計預金 … 84,312,024 円	退職・財政・決済金積立金 … 820,233,613 円	土地 … 20,017,387 円
特別会計預金 … 48,698,521 円	蕨栗沼遊水地事業地役権補償費 … 96,155,310 円	建物 … 76,686,296 円
未収入金 … 7,538,616 円	基金・出資金 … 1,585,000 円	機械 … 12,446,990 円
		備品 … 30,276,318 円



長期負債 2,034,861,599 円	短期負債 916,388,923 円
農林漁業金融公庫 … 1,201,429,128 円	退職給与積立金 … 310,877,224 円
宮城県信連 … 21,690,000 円	財政調整積立金 … 331,503,947 円
みやぎ登米農協 … 811,742,471 円	決済金積立金 … 177,852,442 円
	蕨栗沼遊水地事業地役権補償費 … 96,155,310 円

前理事長

渡邊栄司氏春の叙勲に輝く



前理事長の渡邊栄司氏が、旭日双光章を受章されました。氏は、昭和57年11月旧迫川沿岸土地改良区理事に選任され、平成2年11月同改良区理事長に就任。平成6年4月には、土地改良区の運営基盤の強化を図るため、旧迫川沿岸・登米郡南方迫・登米郡米山町土地改良区の三土地改良区の統合による当土地改良区設立に貢献し、平成6年7月には理事長に就任されました。常に受益者の視点に立ち優れた指導力と行動力で農業基盤の確立に多大な貢献をされました。受章に対してお祝いを申し上げるとともに、今後尚一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

事業地区別償還金残額調書

平成17年度末

単位：円

地区名	県営ほ場整備	県営かんばい	平準化事業	団体営事業	10a当残金	最終償還年度
第1千歳区	32,617,086		20,280,000		30,487	H.26 (H.27)
第1野谷地区	3,340,094		4,344,000		32,286	H.25 (H.27)
第1畑岡分区	9,721,141				12,774	H.26
第1一の曲分区	60,847,665		21,560,000		107,022	H.25 (H.34)
第2地区	48,439,179				11,424	H.25
第3地区	37,741,750				12,419	H.27
第4地区	31,267,686				14,253	H.26
第5地区	36,132,900				10,320	H.24
第6地区	130,672,318		135,220,000		72,946	H.24 (H.31)
第7地区	324,089,105				32,772	H.27
第8地区	46,567,200				7,767	H.25
第9地区	1,886,071				2,790	H.26
第10地区	39,173,758		26,470,000		18,966	H.27 (H.24)
第11地区	82,693,546		31,230,000		98,805	H.29 (H.32)
第13地区	97,347,237				93,693	H.26
長沼町新田区	11,963,218				72,504	H.32
長沼地糧区	12,125,586				79,252	H.32
北浦地区	44,706,740				81,433	H.33
迫南部泥内区	43,046,949				91,394	H.34
迫南部土手ノ内区	15,477,223				61,417	H.34
迫南部茂伝治区	2,992,701				43,372	H.34
野谷地地区	95,082,217				44,389	H.36
城内地区	21,779,094				28,581	H.37
第1地区(南方迫)		134,318,143			4,648	H.25
第2地区(米山)		28,558,147			1,326	H.25
西谷地地区				2,752,000	25,962	H.21

※ () は、平準化事業の最終償還年度

償還残金には、利息が含まれない金額となります。

農業農村体験学習



を対象とした体験学習も今年で3年目となりました。域の方達との交流のもと、農業水利施設が多面的機能を果たしてきました。また、自然環境の観点から農業の大切り、その農業が営まれているふるさとである農村への関



「長沼を守る」水辺環境保全活動

当土地改良区の重要な用水源として、また、迫町の観光地の拠点にもなっている「長沼」。その長沼の環境などについて学んでもらうため、水辺環境保全活動体験を実施しました。中国野菜「空心菜」の水耕栽培による、長沼の水質浄化に挑戦。今年は、「空心菜」の苗作りから行いました。登米市立北方小学校5年生の子どもたちが、総合学習で取り組みました。
(担任皆川先生と子どもたち35名)

〔5月25日〕播種作業と育苗トンネル作り



〔6月22日〕長沼の水質調査と空心菜定植

子どもたちの管理により順調に生育し、野菜いかに定植。空心菜が長沼の水をきれいにすることに願いをこめて、いかだを沼に浮かべました。

この日は、数年前から「長沼野菜いかだの会」を立上げ、長沼の水質浄化に取り組んでいる、会長の千葉徳郎さんをはじめ、いかだの会の皆さんに協力を頂き、長沼の環境状況や会の取り組みについてのお話や作業手順について指導を頂きました。又、沼の水がどのような状況なのか、簡易水質検査用のバックテストで水の性質や汚れを調べ、水道水とも比較しました。調査項目：pH（水素イオン濃度）COD（化学的酸素要求量）



〔8月29日〕生育観察と水質調査

いかに定植してから約2ヶ月、空心菜の生育と水質の状況を観察しました。

空心菜の方は、茎が蔓の様に伸び、根も長いもので1m23cmにも伸びていました。

問題の水質は、2回目のバックテスト。結果は前回より悪いデータ（測定値については、沼の面積に対する施設の規模、その日の天候や微生物の活動に左右されます。）となり、子どもたちも残念な様子でした。

この日は、東日本放送開局30周年記念特別番組で、宮城の食材と食材となる野菜を活用したエコロジー活動と言うことで、体験学習への取材が入り、9月3日放送の特別番組で紹介されました。





2005 子どもたちの

21世紀土地改良区創造運動の一環として、子どもたちこの体験学習を通じて、土地改良区・農家の皆さん・地持ち合わせること、そしてそれら施設の重要性について啓さ、特に稲作は生き物たちにとってとても大切なことであることを深めてもらうようさらに活動を展開して行きます。本年度、この4つのテーマの下活動をしてきた内容につ

「田んぼの学校」環境保全型農業体験

田んぼを体験学習のフィールドに活用し、農作業体験や生き物観察等を行い、自然を身近に感じてもらう、田んぼが生産の場だけではなく「生き物たちにとって大切な場所」であり、農業の営み、特に稲作は生物の生態系に大きく影響することから、農業農村の大切さについて理解と関心を促す事をねらいとし、今年も田んぼの学校を開校しました。登米市立中津山小学校3年生の子どもたちが、総合学習で取り組みました。(担任米島先生と子どもたち36名)

[5月26日]「田んぼの学校開校式」、線引き作業と田植え作業



- ・八角形木枠で線引き
- ・手作業で田植え
- もち米「みやこがね」
485㎡
- 古代米「朝紫（黒米）」
15㎡

[6月6日] 米ぬか散布と水質浄化実証用植物の定植作業

☆自然の恵みが除草効果

除草剤の代わりに、雑草繁殖抑制効果のある米ぬかを散布。稲の肥料にもなり微生物のエサにもなります。

米ぬかは、水中で発酵します。

発酵する際、酸素を必要とするので、水中は酸欠状態になることから、雑草の発芽や発根を抑えることができるという仕組みです。



昨年に引き続き、東北大学大学院工学研究科環境生態研究所が、植物を活用しての集落排水処理水の浄化と植物の生育に関する実証実験を実施しました。

その植物の定植作業を子どもたちが行い、植物の生育観察をしました。

【実証植物：ヘチマ・空心菜】

作業前に、千葉先生より身近な水についてお話を頂きました。



[第1回6月28日・第2回7月19日] 生き物観察



あたりまえのように田植えが行われ稲が刈り取られる田んぼ、生産性を追求し機械化が進んだ営農、子どもたちが田んぼに入ったり、畦道を歩いたりすることがなくなり、自然とのふれあいがなくなりました。

自然豊かな田んぼ、その中がどうなっているのか、どんな生き物たちが暮しているのか観察をしました。

- 1班：田んぼの土中
- 2班：田んぼの水中
- 3班：田んぼの水面・稲
- 4班：田んぼの畦
- 5班：田んぼ内と畦の植物
- 6班：周辺の水路

〔9月22日〕空心菜調理体験と交流会

水質浄化に活用され、登米市迫町の特産品として普及してきている空心菜の調理実習を実施しました。

地元で生産・販売・普及活動に取り組んでいる「迫空心菜くらぶ」の方を講師に迎え3品に挑戦。

①空心菜サラダ ②空心菜ジュース ③空心菜お好み焼き

交流会も兼ね、迫空心菜くらぶ・土地改良区（職員5名）・長沼野菜いかだの会千葉会長さんが、それぞれ子どもたちの中へ入り、調理指導や試食で交流しました。

試食後、子ども体験学習Q&Aを実施。

質問の方は、①長沼の空心菜、②空心菜の栽培、③空心菜の販売など空心菜の料理とほとんど空心菜についての質問。

土地改良区についての質問もあるとうれしかったのですがちょっと残念です。土地改良区を理解してもらうことも狙いの一つでしたので今後の課題です。



設置支援事業活動報告

第3回 2005.09.25.開催



とねやしき農場ビニールハウスにてホウレン草収穫作業

改良区・南方町紹介ビデオ鑑賞会

17名参加・降雨にもかかわらずご参集頂きました。
農業水利施設の役割等理解を深めていただきました。

第4回 2005.11.06.開催



白菜畑の草取り作業（渡辺氏）

高石排水路草刈り

恵みに感謝・収穫祭

NHKで放映されました

担い手農家に農地の集積が進むことで、農作業や農業用施設の維持管理も集中してまいります。このことから都市住民や地域住民のボランティアを募り、みんなの財産である農業水利施設を連携・協力し合い維持保全を図ります



[10月11日] 稲刈りと棒掛け作業



おじいさん、おばあさんにも参加して頂き、稲刈りと結束の仕方について教えてもらいながら、時間内で500㎡の稲刈り、棒掛け作業を終了することができました。結束はちょっと難しかったようです。

[11月6日] 脱穀・粳摺り体験・収穫祭（自然の恵みに感謝）



- ・足踏み脱穀機での脱穀体験。
 - ・唐箕（トーミ）でのもみ選別。
 - ・わりばしを使った脱穀
 - ・すり鉢と野球ボールを使った粳摺りを体験。
- お母さんたちも挑戦

代表して3名の子どもたちが体験学習の感想を発表してくれました。

農村サポートセンター

第1回 2005.06.05.開催



グランドカバーの株分け作業



42名参加・初の試みである農業水利施設等の維持管理など非農家のボランティア協力を仰ぎました。

地域通貨「水士里」道の駅に使用可



2時間のボランティア作業に感謝を込め200水士里進呈

第2回 2005.07.24.開催



グランドカバーの定植作業（高石幹線排水路）



カヌー教室開催

総代研修開催

花巻・秋田方面一泊二日



おもののがわ土地改良区にて



熱心に説明を聞く総代さん達

去年八月九日総代会終了後総代研修が開催されました。

管内の用水路は、ほ場整備事業が完了後早いところでは三十年以上経過し、施設の老朽化が進んでいます。このことにより近い将来必要になると思われる自然庄のバイブラインについて、視察研修にきました。

この研修には、備パデイ研究所所長小野寺恒雄氏に同行をお願いし、研修一日目は、ファオス（新地下水位制御システム）について説明・講演を戴き、二日目は、研修を早くお受けくださった秋田県おもののがわ土地改良区を訪問し詳細な説明を受け、ファオスでスイカやキュウリを作付けし、成果を挙げている転作田を視察してきました。

当土地改良区管内の城内地区も自然庄のバイブライン方式を採用し、成果をあげているところであります。この研修により農業技術の発展が農作業の省力化と収益の増大につながるものと確信することができました。総代さんから「とても有意義な研修であった」との声も聞かれました。

▽迫川沿岸

土地改良区

理事長表彰

永年に亘り機場機関手としてまた水路監視人として、かんがい用水の供給と排水施設の管理に尽力を頂いた功績により、次の方々へ感謝状を贈呈したので紹介します。

門 間 長 一（米山町）
白 鳥 長 実（南方町）
藤 原 実（南方町）
佐 藤 悦 朗（追 町）
石 川 真 郎（追 町）

秋作業終了後は暗渠

水閘を閉めましょう！

暗渠の疎水材（モミガラ）は乾燥すると腐食が進み沈下し、その事により漏水の原因や暗渠そのものの耐用年数が減少するとともに養分流失による地力の低下につながります。また、用水終了後、暗渠から出る鉄分を多く含んだ水により、排水路は茶褐色になります。見た目が悪いだけでなく、だれが見ても綺麗な水ではありません。

秋作業終了後は暗渠の水閘を閉めよう。

お願ひ

農地の売買で、土地改良区賦課金の滞納がある土地を購入すると、その滞納金は、その土地を購入した人が支払うことと法律（土地改良法）で規定されています。

農地を購入される場合は、事前に滞納金があるかを土地改良区に確認の上、売買契約をされますようお願いいたします。

詳しいことについては、改良区までお問い合わせください。

今年度最後の第三期賦課金

十二月一日発布

十二月十五日限り

の納入期限となりますので、期限内完納に御協力をお願い申し上げます。

人事往来

職員

（平成十七年八月一日付）

津山土地改良区出向

小野寺 誠 毅

（事業課事業係主査）